

**追加開催** **動き出したエクソソーム創薬**

— 新規の標的探索からDDS利用まで —

多様な細胞が産生・放出するエクソソームに注目が集まっています。

エクソソームはこれまで、不要な分子を処理するためだけの存在だと考えられていましたが、近年の研究から、細胞同士のコミュニケーションをつかさどる存在でもあることが分かってきました。それに伴い、エクソソームと癌、中枢神経疾患、免疫などとの関わりが徐々に明らかになっています。

最近では、エクソソームと疾患との関わりから、新規の標的探索や、エクソソーム自体を“薬剤”として投与するエクソソーム療法の臨床試験も実施されています。エクソソーム研究を診断や創薬に結び付けるにはどうすればいいか—。

国内でエクソソーム研究を牽引する研究者が会える絶好の機会です。エクソソーム創薬の可能性や、診断分野への応用について議論し、コミュニケーションを深めてください。皆様のご参加をお待ちしています。

※2016年6月6日開催予定の同セミナーが大変好評のため、講師陣を一部変更して追加開催を企画しました。6月6日開催を既にお申し込みいただいている方には、内容が一部重複するため、お知り合いや同僚の方々にお勧めください。

開催日時	2016年6月27日(月) 12:30~17:30 (開場12:00) 予定	
会場	日経BP社 4F (東京・白金高輪)	
主催	日経バイオテク	
協賛	日本カンタム・デザイン株式会社	
受講料 (税込み)	一般 : 26,000円 『日経バイオテク』読者 : 20,000円	

◇ 日経バイオテク定期購読者 (日経バイオテク、日経バイオテクONLINE) は、読者価格にてお申し込みいただけます。ファーマビジネス会員は、日経バイオテクONLINE 法人版ページのお知らせ欄から、専用申込書をご利用ください。

※ 満席になり次第、申込受付を締め切らせていただきますので、お早めにお申し込みください。

**プログラム** ※講演時刻等、随時更新いたします。また、プログラムは変更になる場合があります。あらかじめご了承ください。 2016年5月13日現在

12:30~12:35	開会挨拶 日経バイオテク 編集長 橋本 宗明
12:35~13:30	<b>エクソソームを標的とした疾患の新規診断・治療戦略を探る</b> 国立がん研究センター研究所 分子細胞治療研究分野 主任分野長 落谷 孝広 氏
13:35~14:30	<b>エクソソームが作り出す新たな診断戦略</b> 国立がん研究センター研究所 分子細胞治療研究分野 研究員 吉岡 祐亮 氏
	休憩
14:50~15:45	<b>エクソソーム機能のアルツハイマー病予防・診断・治療への応用可能性</b> 北海道大学大学院 先端生命科学研究院 次世代ポストゲノム研究センター 生体機能化学研究室 特任准教授 湯山 耕平 氏
	休憩
16:00~17:30	<b>パネルディスカッション：エクソソーム創薬に向けて —有望な疾患領域は？ 最適な作用機序は？ 実現可能なスクリーニング方法は？—</b> パネリスト : 各講演者の皆様 モデレーター : 久保田 文 (日経バイオテク 副編集長)

※パネルディスカッション終了後、講師の皆様と名刺交換していただけるお時間を用意しております。ご希望の方は、ぜひご参加ください。